

平面ベクトルの基礎

ベクトルは座標を一般化した概念です。図形問題を式計算に落とし込むだけでなく、式の問題を図形に視覚化することも可能にします。基礎となる7つの項目について、基本形の問題を抜粋しました。

大橋

1 条件式で定まる点の位置

$\triangle ABC$ の内部に点 P があり、 $6\overrightarrow{AP} + 3\overrightarrow{BP} + 4\overrightarrow{CP} = \overrightarrow{0}$ を満たしている。

- (1) 点 P はどのような位置にあるか。
- (2) 面積比 $\triangle PBC : \triangle PCA : \triangle PAB$ を求めよ。

2 共線条件

$\triangle ABC$ の辺 BC を $1:2$ に内分する点を P 、辺 AC を $3:1$ に内分する点を Q 、辺 AB を $6:1$ に外分する点を R とするとき、3点 P 、 Q 、 R が一直線上にあることを示せ。

3 交点の位置ベクトル

$\triangle ABC$ の辺 AB を $1:2$ に内分する点を D 、辺 AC を $3:1$ に内分する点を E 、 BE と CD の交点を F とするとき、 \overrightarrow{AF} を \overrightarrow{AB} 、 \overrightarrow{AC} で表せ。

4 三角形の五心の位置ベクトル

〔垂心〕3辺の長さが $AB = 1$ 、 $AC = 2$ 、 $\angle BAC = 45^\circ$ である $\triangle ABC$ の垂心を H とするとき、 \overrightarrow{AH} を \overrightarrow{AB} 、 \overrightarrow{AC} で表せ。

〔内心〕3辺の長さが $BC = 7$ 、 $CA = 5$ 、 $AB = 3$ である $\triangle ABC$ の内心を I とするとき、 \overrightarrow{AI} を \overrightarrow{AB} 、 \overrightarrow{AC} で表せ。

〔外心〕3辺の長さが $AB = 2$ 、 $BC = \sqrt{6}$ 、 $CA = 2$ である $\triangle ABC$ の外心を O とするとき、 \overrightarrow{AO} を \overrightarrow{AB} 、 \overrightarrow{AC} で表せ。

5 ベクトル方程式

[1] 2 直線 $x - 2y + 3 = 0$, $x + 3y + 5 = 0$ のなす角 θ を求めよ.

[2] xy 平面上の点 $A(0, 0)$, $B(4, 0)$ に対して,

$$(\overrightarrow{AP} + \overrightarrow{BP}) \cdot (\overrightarrow{AP} - 2\overrightarrow{BP}) = 0$$

を満たす xy 平面上の点 $P(x, y)$ の描く軌跡を求めよ.

[3] 定点 $A(\vec{a})$, $B(\vec{b})$ と動点 $P(\vec{p})$ について, $|4\vec{p} - 3\vec{a} - \vec{b}| = 12$ で表される点 P はどのような図形を描くか.

6 終点の存在範囲

$\triangle OAB$ に対して, $\overrightarrow{OP} = s\overrightarrow{OA} + t\overrightarrow{OB}$ (s, t は実数) とする. s, t が次の条件を満たすとき, 点 P の動く範囲を図示せよ.

(1) $s + t = 1, s \geq 0, t \geq 0$

(2) $s + t = 1, s \geq 0$

(3) $s + t = 2, s \geq 0, t \geq 0$

(4) $3s + t = 2$

(5) $0 \leq s \leq \frac{1}{2}, 0 \leq t \leq 1$

(6) $0 \leq s + t \leq 2, s \geq 0, t \geq 0$

7 別解研究

(1) 実数 x, y が $x^2 + y^2 = 1$ を満たすとき, $3x + 4y$ の最大値と最小値を求めよ.

(2) 実数 x, y が $x^2 + y^2 = 1, y \geq 0$ を満たすとき, $3x + 4y$ の最大値と最小値を求めよ.